七月十日は交通安全県宣言日

交通事故は人災による災害

1人ひとりが気をつけて ルールを守る良い習慣化を

七月十日は、県が交通安全を宣言してからちょうど十年目の日に当たります。

この日は、全県民が交通事故の犠牲となった人のめい福を祈って人命の尊さを知り、交通ルールにしたがった正しいあり方を県民ぐるみで確認し合いながら、毎日が明るく生活ができるようにと昭和三十七年から始められているものです。

交通安全宣言日には、県内各地で交通事故防止を呼びかけたいろいろな行事が計画されていますが、当市でも交通マナーを身につけてもらうための街頭指導を重点的に、交通安全教室や日常生活に密着した広報活動を関係諸団体の協力を得て行なうことにしています。

痛ましい交通事故は、人災です。一人ひとりの心掛けしだいで、安全かどうかをたしかめ、反省し、習慣化することによって防げるはずです。

過去二か年間の事故の実態をみても全国的にはやや減る傾向にありますが、県内では逆に増えており、さらに当市では件数、傷者とも前年を上回っています。

どうしてこんなに多くの事故が起きるのでしょうか。車の増加も大きな原因かと思いますが、何んといってもみんなが交通ルールを守るという心構えが欠けているのでは…

運転者も歩行者もお互いにいま一歩、交通の安全に気をくばり、事故の恐ろしさをみんなで十分に認識したいものです。

交通ルール守る良い子たち

リレー随想 (4)

奥山の牡丹

大鹿坂井雅子

だれが見てくれるのか人知れぬ奥山に咲いた牡丹

「身分違いの恋」…どこもかしこにもある話しです。

前後みさかいなく、熱烈な恋愛をして、その結果、子どもが生まれたというのに、身分が違うため泣く泣く別れるという琉球歌劇の粗筋を紹介します。

男の人に「身分が違うから別れてくれ」といわれれば「あなたのご迷惑にかかるようなら…」といって身をひく。これが本当の愛だと私は感激した。

子どもを恋人に託して自分は山奥に牡丹を慰めにつくって、ひっそりと別れた子の無事を祈り、そして暮す。やがて成長した子が母を探し当てて「いっしょに暮そう」というと「ご一族の恥になるから」といって身投げしてしまう。

現代では、身分違いなどはナンセンスと思い、たえ忍ぶことなどは、一生の損とばかりに自己主張をする愛は愛でも自己愛の方が多い。結婚相手を決めるにもこの人といっしょになったら自分はシアワセになれるかと、自分のことばかり考える。

結婚は、自分本位に考えてはとても成立しない。だから、そんな面倒な結婚なんてしないで、一生一人で気ままに暮していけたらと思うが、人並みのていさいを考える私などは、そんな気力はない。

――結婚は幸福なものである。その幸福は、結婚を味わうことこそ人生最大の幸福なのである――という書物に触れ、やっぱり人生の幸福は結婚にあるのかと「幸福」を発見?できてうれしくなった。

今の私は、会社と青年会と習いごとで生活が満たされているようにさえ思う。

ゆっくりと一人の人に目をむけて、将来を共にする人を決めるのが恐ろしい。なにしろ人生の幸福がかかっているんだもの……。

このバトンを新町一の斎藤英夫さんにつなぎます

内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6-12 TEL(2)1731

看板■車輌文字■専門
技術本位……
江本看板店
新津市本町1 TEL(2)―1380

たばこは地元で

消費税は有力財源

たばこを市内の小売店から買っていただくと、たばこ消費税というお金が日本専売公社から市に納入されます。

昨年度、市内のたばこ小売店が売り渡した本数は、1億1,397万6,260本で、その税額8,159万420円が市に納入されました。

(この額は20本入り1箱当たり14円32銭になり、今年度は14円83銭が収入となります)

この消費税額は、市税総額の13%に当たり、橋をかけたり、道路をなおしたりする公共事業に役立てられています。

たばこを買うときは、ぜひ市内の店から買って、税の増収にご協力ください。なおこの啓もうには、たばこ消費税増収対策協議会があたっています。

電気は正しく……

たこ足配線は危険

電気は、正しく使ってさえいれば安全で便利なものですが、電気事故の大部分は、間違った使いかたや日ごろなにげなしに見過ごしていることから起こります。

"私の家は大丈夫"とお決めになる前にもう一度よく回りを確かめてください。こんな例はありませんか。

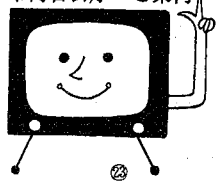
ぬれ手は禁物

「ぬれ手に粟」ということわざがありますが、電気ばかりは"ぬれ手"は禁物です。電気は水を伝わるからです。台所などで電化器具を使うときには、必ず手を拭いてからにしましょう。

たこ足配線は事故のもと

一つのソケットやテーブルタップから、たこ足のようにたくさんの電気をとると、非常に危険です。なぜなら、コードなどは流せる電流に限度があるからです。過熱して火災の原因になることもあります。気をつけましょう。

市内官公庁へご案内



河川、道路などを維持管理

公共土木事業の整備促進も

新津土木事務所

現在の新津土木事務所のことを、次のような昔の呼び名でいう人が時どきいます。

新津土木事務所は、昭和四十一年八月に現在の名称に変わったのですが、以前は土木出張所の呼び名で親しまれ、昭和十八年以前には、土木派遣所、大正年間は新津土木工区といわれていました。

現在の管轄区域は、新津市を含む五泉、小須戸、村松の四か市町で、面積四百四十六平方キロ、道路延長では、国道、県道あわせて百七十八キロメートルあります。このうち舗装道が百六キロメートルで、舗装率六一%と近年急速に伸びております。

河川は、信濃川水系が十六河川、阿賀野川水系が十五河川あり、これら河川、道路などの維持管理と、公共土木事業の整備促進に力を入れています。

業務の内容は、別図のとおりで、八十三名の職員が次の重点事業を掲げ、地域社会の経済発展と、民政安定のため一致協力して取り組んでいます。

●能代川改修事業

能代川上流の村松町、五泉市の開発と改修が進むにつれ洪水の被害が新津市に集中しているため、昭和四十五年度から能代川バイパス用地の買収を始め、小阿賀野川合流点にいたる一日も早い改修事業の促進

●新津バイパス建設事業

現在の新津市内の交通量は現路線の一日の二千台交通許容量を、昭和四十六年度調査では九千台以上と約五倍近い交通量になっています。

このため、新潟市を起点として亀田町を経由し、新津市にいたる一五、八キロメートルバイパスの早期完成をはかる。

●早出川ダムの建設事業

早出川は、延長四百六キロメートルの一級河川ですが、上流の村松町田川内地内に洪水調節、かんがい用水、発電などの多目的ダムを、昭和五十二年度を目途として推進

新津土木事務所業務分担図

- 庶務課 (庶務係)…庶務一般 (管理係)…道路、河川などの占用等許認可事務に関するしごと
- 用地課…公共事業、県単独事業の用地買収に関するしごと(道路、河川、砂防、都市)
- 工務第一課…河川事業の改良、道路河川などの維持修繕および災害復旧に関するしごと
- 工務第二課…道路、砂防、都市(街路)事業の新設に関するしごと
- ダム建設課…早出川ダムの建設に関するしごと
- 建築課…建築確認申請の審査、指導、取り締まりに関するしごと。

㈱まるよしホームセンター
駅前通 (代)2―0061
SONY
トリニトロンカラー
東芝 IC ブライトロン
クレジットで月々2,000円でOK
全機種大量展示中
月々2,000円より
オーディオまるよし
駅前通 2―1898

電器店の定休日
毎月第1・第3日曜，その他の週の月曜日
7月の定休日2,10,16,24日
新津電機商組合